

第五回 羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会 議事概要

日時 平成19年8月31日(金) 自:14時00分 至:16時00分
場所 ホテルポートプラザちば 2階 ロイヤル

1. 議事

(1) 山砂運搬計画について

- ① 地盤改良ピーク時の運搬ルートについて
- ② 山砂運搬計画・規則の改訂について
- ③ 環境モニタリング計画について

2. 報告事項

- (1) 環境モニタリング結果について
- (2) 安全パトロール結果について
- (3) 問い合わせ情報処理の状況について

(議事結果)

山砂運搬計画(地盤改良ピーク時)が了承される。

9/1より高速道路利用に移行する。

運搬経路等については、HP等適切な手段で公表する。

(主な質疑・意見等)

◎ 運搬経路について

- ※ 高速道路の利用率が約70%とのことだが、未利用の約30%は何処のことか。また、現在の利用率約70%を少しでも高めて、約80%を目標にしていきたいと説明があったが、約10%の増はどのように行うのか。(木更津市)
- ✦ 基本的な考えとして、運搬経路上に高速道路のICがある場合は高速道路を利用することとしております。例えば、小糸地区からの運搬の場合には、途中で君津ICがありますので全高速道路利用となります。しかしながら、畑沢地区から木更津港に向かう経路には高速道路のICがありませんので、高速道路未利用としております。なお、戸崎地区については、現時点で約半数が高速道路未利用となっておりますが、木更津東ICが使用可能な箇所については高速道路利用を促進し、高速道路の利用率を上げていきたいと考えています。
- ※ 金谷港までの運搬ルートに関し、富津中央ICから富津金谷ICまで高速道路を使うとあるが、予備ルートを残すと、高速道路が交通事故、交通渋滞が起こった際はこのルートを使用する事になるので、赤の破線(国道127号線)を削除してほしい。(富津市)
- ✦ JV・協議会と検討の上、削除する方向で検討させていただきたい。
- ※ 地盤改良が終われば走行総数は一時減り、その後また増える事が想定される。今後これ以上増えると、苦情も増加すると思うので、ストックヤードを活用してもらい平準化してほしい。(木更津市)

- 埋立段階の具体的計画はこれから立案しますが、平準化についてご指摘の点も踏まえて検討していきます。今後の対応については、本連絡会で協議させていただきたい。
- ※ 高速道路利用について課題（木更津南 I C から R 1 6 への出入口、クリーンセンター付近の交差点、君津 I C への出入口交差点、木更津南 I C の E T C ゲート）があるということだが、課題への対応についてはどう考え、どの様に対応する考えか。（木更津市）
- 高速道路の出口／入口に関しては、既に警察とは協議を進めています。クリーンセンター前の左折の件は、千葉国道及び警察と協議しなければいけませんが、左折レーンを増設する方向で協議を行っています。
- ※ 木更津南 I C のロングランプと国道 1 6 号線交差点の信号において、今後の交通状況によりサイクルの変更が必要な場合には早めに連絡させていただきたい。（千葉県警）
- 実態を確認して、協議させていただきます。
- ※ 運搬ルートをホームページに掲載して欲しい。（木更津市）
- 第 3 回で決定した内容については、既に掲載させていただいております。今回の決定事項についても、対応させていただきます。

◎ 山砂運搬計画・規則について

- ※ 年末年始及び地域の行事の日は、運搬に配慮していただきたい。また、夏と冬では日の出、日没の時間が異なるので、特に冬の運搬時間は考慮して欲しい。常識的に考えると、夏冬で 3 0 分位は時間差があるのではないかと。是非検討して欲しい。（木更津市）
- 協議会で、羽田の山砂、羽田以外の製品及び建設発生土の全てにおいて、朝 6 時～夕方 6 時（積み込み終了）～夕方 7 時（運搬終了）と決定したと聞いており、羽田向け以外も含めルールを統一しようという事で進んでいます。当初の計画は日の出、日没としていましたが、定義が解りづらいのではっきりさせる必要があるとの意見が出されたため、時間を設定しました。地域協定を踏まえてこの連絡会の中で決定した経緯がありますので、今後冬場にかけて住民の方々の意見もお聞きしながら検討させていただきます。
- ※ 運搬時間について、盆休み中は休止してもらった。年末年始及び地域の行事の日は、運搬に配慮していただきたい。（木更津市）
- 地域の行事等については、個別に対応させていただきたい。
- ※ 高速道路利用に当たって石はね事故がかなりあるので、石はね防止の項目を入れてもらいたい。（千葉県警）
- ※ 君津 I C から富津中央 I C 間については、片側通行となっており幅員も 3.5 メートルしかなく路肩もほとんどないので、この区間を通行するダンプ運転手には安全教育を実施して欲しい。また、センターラインについてもポストコーンを設置してある程度なので、ラインを超えると大事故になる可能性がある。事故が起こった場合は、通行を止めざるを得ない。また過積載により渋滞の発生も予測される。（千葉県警）
- 運搬規則に追記、運転手に徹底します。
- ※ 運搬ルールの中で、ルート違反、プレート隠す、リボンを外す等、ある地区から苦情や叱りの声がかっている。違反者への対応は、規則の中では「D プレートを没収等」記載しているが、対応状況を踏まえ、規則の中に罰則について詳細に記載して欲しい。なお、罰則規程を作るのであれば提示して欲しい。（木更津市）
- ※ 違反への対応で一発退場という説明もあったが、黄色いリボン、プレートを掲示してい

ない車の割合を考慮すると、罰則を周知徹底して欲しい。リボン、プレートについては、同じダンプが羽田向け以外の砂を運ぶ時には外すことから、付け忘れに対して意識を持たせるようなペナルティとして欲しい。(木更津市)

✦ ルールの見直しについては、定期的なチェック、抜き打ちのチェックも含めたパトロールを実施します。罰則規定は、JVと協議会で詳細を詰めて決定させていただきたい。また、ルールをいかに各区実に運用していくかが重要であると思っています。

※ 千葉県、地元にとって、規則は最低限のルールである。是非遵守して欲しい。(千葉県)

✦ 最大限徹底してまいりたい。

◎ 環境モニタリング計画について

※ M15地点(R16 木更津南IC出口付近)について騒音、振動も合わせて実施してもらいたい。(木更津市)

✦ 県及び市が実施しているポイントと整合を図りながら、沿道住民に関係の深いポイントとして決定した経緯がありますが、必要性について検討して個別に対応させていただきたい。

◎ その他

※ 参考資料-1(環境モニタリング結果)の交通量について、6ヵ所の調査結果が出ているが、羽田ダンプについて上りと下りを比較すると、ほとんどの地点において上りが多くなっているが何か要因があるのか。羽田向けの交通量のカウントは、上りは山砂を積んで運び、帰り(下り)は空で運搬となるのか。帰り車で残土を運ぶ場合は一切指導できないのか。(千葉県)

✦ 今回の計画では山から岸壁まで運びますが、一部のダンプは羽田のプレートを外して建設発生土を運搬する車があるので、その様な結果になっていると思われます。また、建設発生土を運搬するダンプについては、直接的な指導は困難であると考えています。

※ 運搬開始からの4~5ヶ月間に、我々が想像する以上の轍ぼれが出来ており、早急な対応が必要となっており、今後相談していきたい。(千葉県)

✦ 従前から千葉県道路環境課と相談させていただいています。今後とも、引き続き協議させていただきます。

※ 連絡会の傍聴に関し問い合わせが来ているので、今後、可否につき検討して欲しい。(千葉県)

✦ 傍聴については、明確にこの場で返答することが困難ですが、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」等を踏まえて対応する必要があると考えています。

以上